

結核集団感染事例の発生について(令和8年2月6日)

報道発表日時：2026年2月6日 午前10時00分

結核集団感染事例の発生について

1 集団感染事例について

1. 概要

令和7年8月に医療機関から本市へ発生届のあった結核患者について、本市が同居者、岐阜県が通学先である学校の関係者、豊田市がアルバイト先の関係者を対象として接触者健診を実施したところ、発病者4人、感染者20人が確認されました。

2. 患者等発生状況

- (1)初発患者の概要 市内在住20代男性(学生)、令和7年7月頃 発病
- (2)初発患者の症状 咳、発熱
- (3)集団の概要 同居者、学校関係者、アルバイト先関係者 計116人
- (4)発病者及び感染者数 発病者4人、感染者20人

区分	対象者数 (人)	受診者数 (人)	異常なし (人)	発病者 (人)	感染者(人) (注1)	経過観察 (人)
同居者	3	3	0	3	0	0
学校関係者	103	103	81	1	18	3
アルバイト関係者	10	10	8	0	2	0
計	116	116	89	4	20	3

(注1)結核菌に感染しているが発病に至っていない者で、発病を防ぐための投薬治療が必要な者(結核菌を排出(排菌)していないため、他者へ感染させるおそれはありません。)

3. 今後の対応

初発患者、発病者や感染者に対して、治療が終了するまで服薬支援を行います。

4. 本市における新登録患者数及び結核集団感染事例数

年次	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年(注3)
新登録患者数(人)	336	283	262	263	253
集団感染事例数(件)(注2)	0	0	2	0	1

(注2)初発患者が市内在住の場合を計上

(注3)12月末速報値

5. 報道にあたってのお願い

今回の情報提供は市民の皆様への結核に関する啓発を目的にしています。報道にあたっては、発病者等の人権尊重に十分なご配慮をお願いします。なお、個人情報及び会社名等につきましては、プライバシー保護の観点から公表しませんのでご配慮ください。

2 結核とは

結核は医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、今でも日本では1日に約30人の新しい患者が発生し、4人が命を落としている重大な感染症の一つです。本市の令和6年の結核発病者は263人、結核罹患率(人口10万対)は11.3で国の8.1と比較すると高値となっており、政令指定都市の中で4番目に高い状況です。

最初は風邪に似た症状で始まりますが、痰(たん)のからむ咳、微熱、身体のだるさなどが2週間以上続いている場合には、結核も疑い、呼吸器内科などの専門医療機関を受診しましょう。

1. どのように感染するのか

菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」といっしょに、結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで人から人にうつります。

2. 感染するとどうなるのか

結核菌に感染しても、結核菌が免疫力で抑えつけられ、発病するのは10人に1人から2人程度です。また、発病時期は、吸い込んだ菌の量や感染した人の抵抗力の状況より、感染後数か月から数十年先の場合もあります。

3. 結核の治療は

症状や身体状態によっても異なりますが、標準的な治療方法として、数種類(通常3剤または4剤)の抗結核薬を組み合わせ、6か月から1年間程度内服します。

4. 結核から身を守るには

ア 予防接種を受けましょう。

結核の予防法には予防接種(BCG)があります。BCGは結核の発病を抑えるワクチンで、たとえ発病したとしても重症化を防ぐのに役立ちます。特に乳幼児では、感染してすぐに発病し、結核性髄膜炎など、命にかかわるほどの重症の結核になる恐れもあるので、生後5か月から8か月頃にBCGの接種を受けることが重要です。

イ 年に1回胸部エックス線検査を受けましょう。

定期的な胸部エックス線検査は、結核の早期発見、早期治療に役立ちますので、年に1回受けるようにしましょう。普段から健康的な生活を送り、免疫力を高めることも発病予防になります。

5. 接触者健診とは

結核患者と、長時間にわたり同じ空間を共有するなど、結核に感染する可能性のあった人(濃厚接触者)に対し、感染や発病の有無を確認するための健診を行います。

ア 血液検査(IGRA検査)

血液検査により、感染の有無を確認します。この検査は、感染による反応が現れる時期(感染後2か月から3か月)に実施します。

イ 胸部エックス線検査

必要に応じ、結核の発病の有無を確認するため、おおむね2年間、定期的 to 実施します。

3 その他

本件は、岐阜県、豊田市でも同時に発表しています。それぞれの公表資料は次の通りです。

 [岐阜県公表資料 \(PDF 231.8 KB\)](#) 

 [豊田市公表資料 \(PDF 808.9 KB\)](#) 

報道発表に関するお問い合わせ

健康福祉局健康部感染症対策課

担当者: 竹田

電話番号: 972-2633 (内線2633)

ファクス番号: 972-4203

Eメール: a2631-01@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp